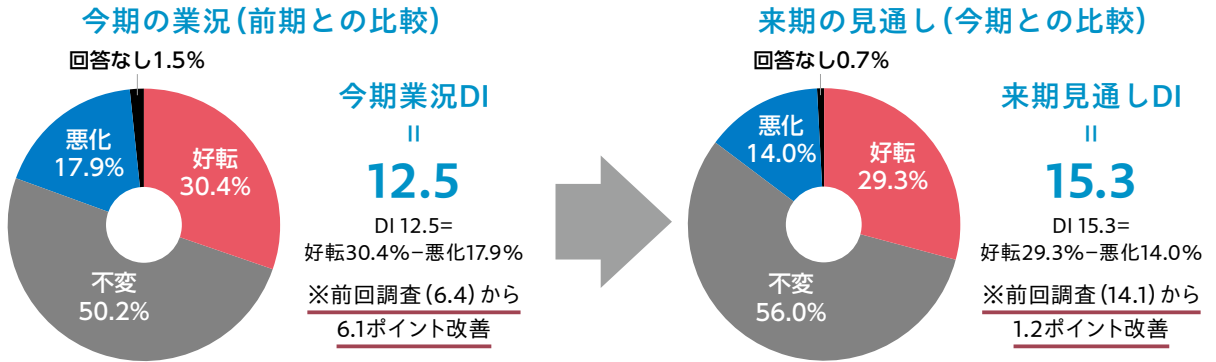


## 世田谷区における中小企業の景況

### 業況

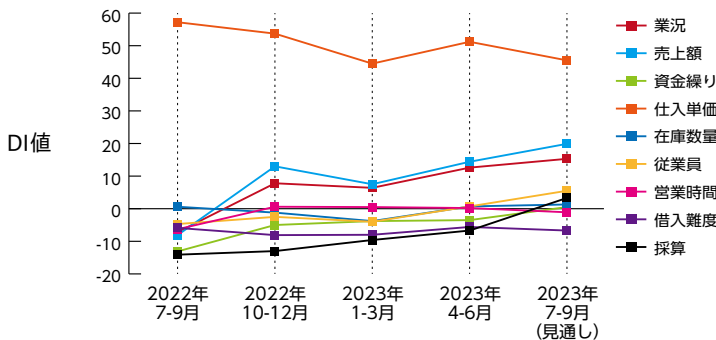
今期(2023年4~6月期実績)の業況DIは、+12.5ポイントで前期から+6.1ポイント改善した。

来期の業況見通しDIは+15.3ポイントとなり、前回調査より+1.2ポイント改善する見通し。



### 主な指標別の傾向

今期は、営業時間+0.2(同▲0.3)がポイント減少したが、それ以外の7指標でポイントが増加している。最も増加したのは、売上額+14.4(前期比+6.9)、次いで仕入単価+51.2(同+6.7)で、6ポイント以上増加している。来期見通しでは、仕入単価+45.5(同▲5.7)など3指標で減少、採算+3.3(同+10.0)、売上額+19.9(同+5.5)など5指標でポイントが増加し改善が見込まれる。



業況	▲7.2	7.8	6.4	12.5	15.3
売上額	▲8.1	13.0	7.5	14.4	19.9
資金繰り	▲13.1	▲5.0	▲3.8	▲3.5	0.5
仕入単価	57.2	53.7	44.5	51.2	45.5
在庫数量	0.6	▲1.2	▲3.8	0.7	1.3
従業員	▲4.7	▲2.5	▲4.0	0.7	5.5
営業時間	▲6.3	0.6	0.5	0.2	▲1.1
借入難度	▲5.9	▲8.1	▲8.0	▲5.6	▲6.7
採算	▲14.1	▲13.0	▲9.6	▲6.7	3.3
	2022年7-9月	2022年10-12月	2023年1-3月	2023年4-6月	2023年7-9月(見通し)

### 主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇄悪化)、売上額(増加⇄減少)、資金繰り(好転⇄悪化)、仕入単価(上昇⇄低下)、在庫数量(増加⇄減少)、従業員(増加⇄減少)、営業時間(延長⇄短縮)、借入難度(容易⇄困難)、採算(好転⇄悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	12.5	13.1	14.4	16.6	▲3.5	51.2	0.7	0.7	0.2	▲5.6	▲6.7
製造業	13.8	8.6	12.1	17.2	3.4	63.8	17.2	0.0	▲6.9	▲3.4	▲3.4
建設業	9.1	13.1	7.1	11.1	▲7.1	60.6	▲4.0	1.0	▲1.0	2.0	▲10.1
不動産業	4.0	6.0	10.0	14.0	▲2.0	26.0	6.0	4.0	4.0	▲6.0	▲6.0
卸売業	8.9	10.1	8.9	6.3	▲1.3	59.5	7.6	1.3	▲1.3	▲5.1	▲13.9
小売業	20.9	19.1	25.5	29.1	▲4.5	64.5	▲8.2	▲1.8	1.8	▲11.8	▲7.3
サービス業	13.1	14.4	16.3	17.0	▲4.6	34.6	▲1.3	1.3	2.0	▲7.2	▲2.0

### 主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	15.3	19.9	0.5	45.5	1.3	5.5	▲1.1	▲6.7	3.3
製造業	8.6	12.1	5.2	56.9	5.2	6.9	▲8.6	▲3.4	▲1.7
建設業	23.2	21.2	▲8.1	51.5	▲2.0	0.0	1.0	0.0	9.1
不動産業	▲2.0	4.0	▲6.0	34.0	4.0	4.0	4.0	▲8.0	0.0
卸売業	12.7	17.7	6.3	53.2	2.5	7.6	▲1.3	▲2.5	3.8
小売業	14.5	21.8	▲0.9	54.5	3.6	1.8	▲0.9	▲14.5	▲1.8
サービス業	20.3	26.8	4.6	30.7	▲1.3	10.5	▲1.3	▲8.5	5.9

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景況(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景況が低迷の傾向にあることを示します。